

公共事業に係る効果等について

緊急地方道路整備事業

大手口佐志線（2工区）

（まちづくり推進課）

事業概要

大手口佐志線（2工区）

○事業背景

本路線は、唐津市中心市街地から西唐津方面へ通じる重要な東西幹線街路である。

整備前は、車道2車線のみで歩道が無く、自動車と歩行者・自転車が輻輳し、大変危険な状況にあった。

○事業目的

街路事業により2車線の車道及び右折車線、両側歩道の整備を行い交通混雑の解消と歩行者・自転車の安全を確保すること。

また、上記整備とともに、建築協定と連携した街路樹や街路灯及び電線共同溝を整備することにより、ゆとりある良好な沿道環境を創出すること。

事業概要

大手口佐志線（2工区）

○事業名：緊急地方道路整備事業

○箇所名：唐津市二夕子二丁目、西唐津一丁目、二丁目及び三丁目地内

○路線名：大手口佐志線（2工区）

○工期

当初工期：H7～H13 → 変更工期：H7～H17（4年延伸）

○総事業費

当初事業費：23.0億円 → 変更事業費：31.2億円

○事業内容

延長L=470m、幅員W=18.0m

【事業前】車道2車線（幅員W=8.0m）

【改良後】車道2車線（幅員W=9.0m）＋両側歩道（幅員W=9.0m）

事業概要

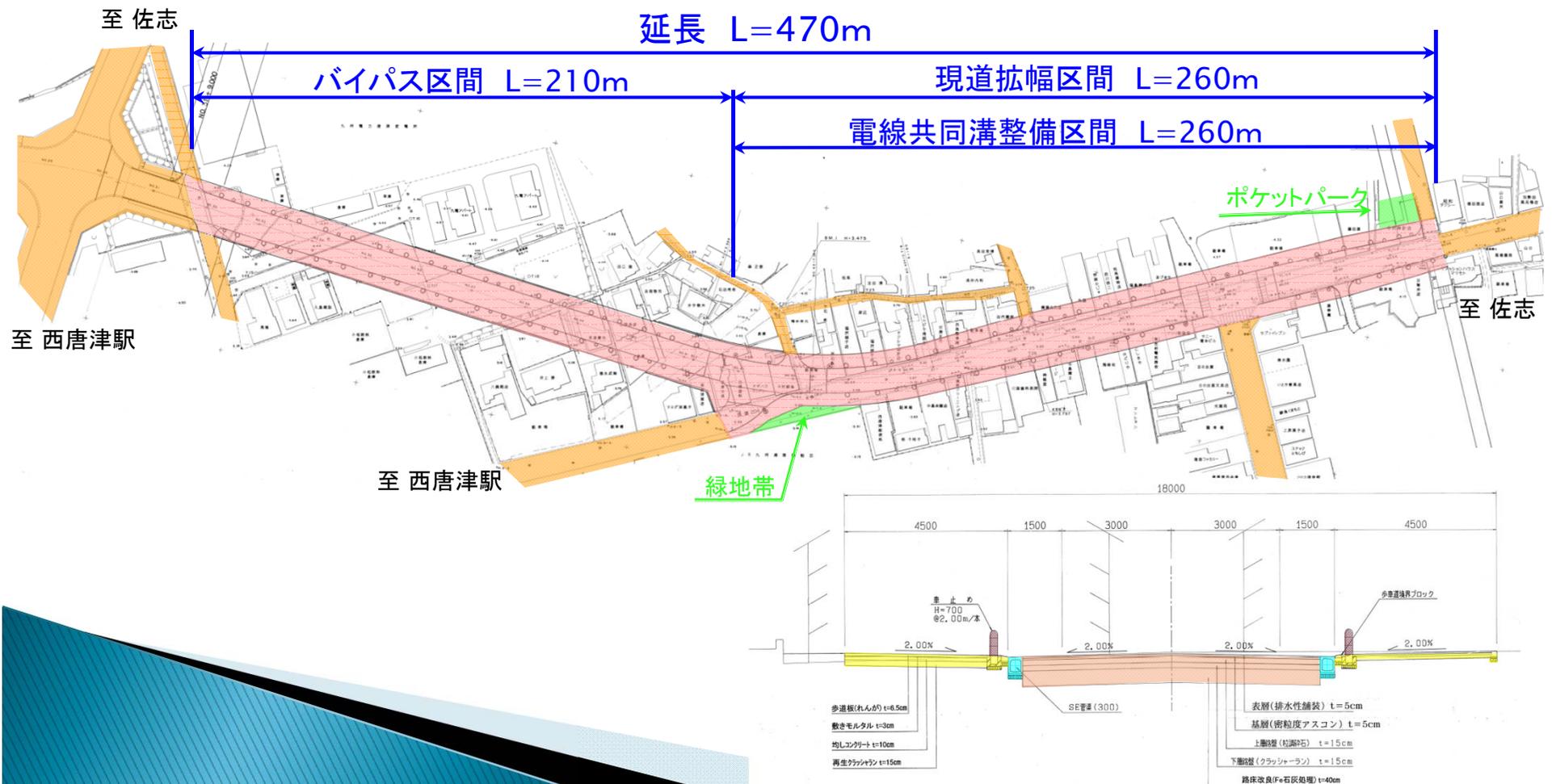
大手口佐志線 (2工区)

○事業内容

道路規格：第4種2級

設計速度：V=50km/h

道路幅員：W=18.0m（歩道4.5m+路肩1.5+車道3.0m）×両側



事業効果（波及効果）の発現状況

大手口佐志線（2工区）

○交差点の右折レーン設置・歩道設置のほか、無電柱化や沿道住家の建築協定等により、街路事業と一体となった沿道整備が実施され、交通環境の改善や景観に統一性が生まれた。

【走行速度 [H11] 24.8km/h → [H17] 26.5km/h】

【混雑度 [H11] 0.91 → [H17] 0.86】

【人対車両事故件数 [H8~H16] 10件(0~3件/年) → [H17~H21] 0件】

整備前の状況



整備後の状況



事業による環境への影響

大手口佐志線(2工区)

- 拡幅により、円滑な自動車通行のみでなく、歩行者・自転車交通の安全を確保でき、散歩等にも頻繁に活用される道路となった。
- バス停留所の設置により、交差点付近の交通渋滞も解消された。
- 街路樹での沿道緑化により潤いのある街並みが形成された。

整備前の状況



バス停の状況(渋滞なし)



整備後の状況

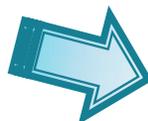


施設の維持管理状況

大手口佐志線(2工区)

- 地元自治会により、自主的に花壇の手入れや清掃、除草などが実施されている。
- 通常の道路清掃や街路樹の剪定等の植栽管理は県が行っている。

整備前の状況



整備後の取り組み(花壇の維持管理状況)

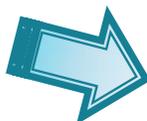
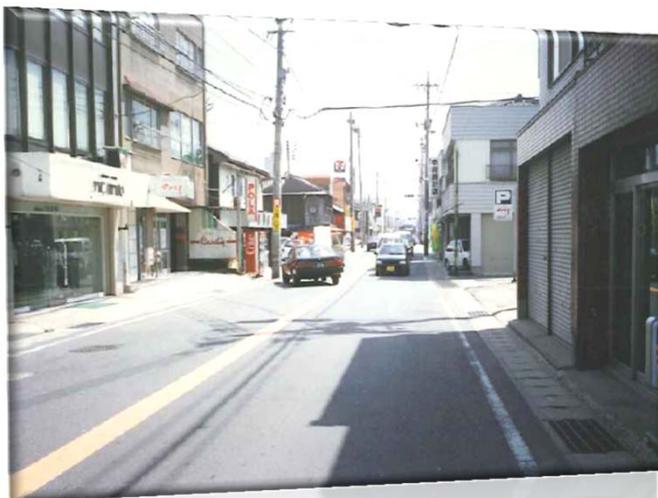


地域住民等県民の意見

大手口佐志線(2工区)

- 地元の用地取得への協力により、現道拡幅がなされ、自動車・歩行者ともに安全に利用されている。
- ポケットパークは、西唐津の歴史を踏まえた整備を行っており、西唐津地区のポケットパークの活用率は日本一だと思っている。(西唐津商店街振興組合会長談)
- 街路整備後、沿線では大規模な宅地開発がなされ、開発地の住民との連携もポケットパークでの催しなどを通じて広がり、地域の活性化に寄与している。(西唐津商店街振興組合会長談)

整備前の状況



整備後の取り組み(花いっぱい運動状況)



改善措置の必要性

大手口佐志線（2工区）

○ポケットパークは、事業の最終年度近くに地元から提案を受け具体化したもので、現在も使用頻度が高く地域からの喜びの声もあり、特に不満な点はないが、街路事業着手時点から、地域ともしっかりと綿密な協議を時間的余裕をもって行うことでより効果的なポケットパークが整備できた可能性もある。

○必要なのは整備内容よりそれをどう活用していきたいかという地元の情熱が最も重要である。

ポケットパーク整備状況



地域のさまざまな活動

大手口佐志線 (2工区)

レトロのまち誕生祭(整備直後の取り組み)



西唐津花いっぱい運動



ポケットパーク井戸管理状況

レトロな街並み(沿道管理状況)



レトロなまちできよつ祭(整備中の取り組み)

